

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP！プラン事業
「小学校理科校内研修支援事業」

実施報告

芽室町立芽室西小学校

* 学級数 16 * 児童数 371

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道芽室高等学校	教諭	杉目 宏行	生物

【本事業のねらい】

理科における基本的な実験器具・薬品などの扱い方を身に付けるとともに、観察・実験などの具体的な体験をとおして児童の理解を深めるための実践的な指導力の向上を目的に実施した。

【実施内容】

2月20日14:40～15:40、芽室西小学校理科室において、26名の教員を対象に、小学校第5学年「植物の発芽」において、鳥のエサの中にある植物の種子を利用し、種子の中の養分と発芽の関係などについて、子どもの興味・関心を高める観察の指導に資する実技研修を行った。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・身近な植物の種子と発芽について、子どもの学習意欲を高める授業方法を学ぶことができました。また、種子の標本づくりは、児童の自由研究にも活用でき、参考になりました。
- ・鳥のエサを見たことはありましたが、入っているものが何かまでは見たことがありませんでした。とうもろこしや大豆以外は、よく見たことがなかったのですが、今回のように標本づくりをすることでしっかり観察しながら取り組むことができ、大変参考になりました。
- ・動画や写真などをプロジェクターで映しながらの授業で、わかりやすかったです。授業でのICT活用の必要性を感じました。
- ・実際に自分達が観察等を行うことを通して、教師が理科の楽しさを感じるとともに、観察の際の安全面での配慮事項、留意点及び子どもの興味・関心を高める指導方法などについて研修を深めることができました。

【来年度以降の実施に向けて】

小学校理科の学習内容について、今回のように身近な教材を使って学びながら研修を深めていきたいと考える。